

近江八幡市

男女共同参画に関する市民意識調査

アンケート調査結果報告書

令和7年3月

近江八幡市

目次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	1
II. 調査結果	2
II－Ⅰ. 市民意識調査	2
回答者の属性	2
〔1〕性別	2
〔2〕年齢	3
〔3〕就業状況	5
〔4〕結婚の状況	8
〔5〕配偶者（パートナー）の就業状況	10
〔6〕家族構成	12
〔7〕子どもの年齢	14
〔8〕居住地域	16
〔9〕居住年数	18
1 男女の地位や役割に関する意識について	19
〔1〕男女の平等感	19
〔2〕性別役割分業について	24
〔3〕性別役割分業に同感する理由	27
〔4〕性別役割分業に同感しない理由	30
2 家庭生活について	32
〔1〕日常家庭生活における役割分担	32
〔2〕誰に介護を頼みたいか	35
3 地域活動について	37
〔1〕地域活動・グループ活動への参加	37
〔2〕家庭内での地域活動の担い手	39
〔3〕地域活動の現状と、現状への意見	42
〔4〕地域活動に女性リーダーが少ない理由	46
4 女性の働き方や社会参画について	48
〔1〕女性の就業について	48
〔2〕男女がともに働き続けるために必要なこと	50
〔3〕女性の社会進出について	52
〔4〕女性の社会参画に必要なこと	54
〔5〕もっと女性が増えたほうがよいと思う職業	56

5 男女間のトラブルについて.....	58
〔1〕恋人やパートナーとの間の暴力に関する経験について.....	58
〔2〕DVの対応.....	60
〔3〕支援を求めることができなかった理由.....	61
〔4〕男女間の暴力に関する相談先の認知.....	63
6 男女共同参画の推進について.....	65
〔1〕男女共同参画に関わる用語の認知.....	65
〔2〕男女共同参画社会発展のため、近江八幡市が取り組むべき課題.....	68
〔3〕男女共同参画推進員の認知.....	71
II-2. 事業所アンケート.....	72
回答者事業所の属性.....	72
〔1〕回答者の性別.....	72
〔2〕業種.....	73
〔3〕事業所区分.....	74
〔4〕従業員数.....	75
〔5〕事業主、管理職の男女別人数.....	78
〔6〕正規従業員の男女別新規採用者数.....	81
〔7〕正規従業員の平均年齢・勤続年数.....	82
1 育児・介護休業支援について.....	84
〔1〕育児休業及び介護休業の取得状況.....	84
〔2〕育児・介護休業制度活用への課題.....	90
〔3〕男性従業員の育児参加を推進する取組.....	92
2 女性の能力発揮促進に関する取組について.....	94
〔1〕女性活躍推進法の認知.....	94
〔2〕女性の活躍推進に関して取り組んでいること.....	95
〔3〕女性の活躍推進の取組後の変化.....	97
〔4〕女性の活躍推進に取り組んでいない理由.....	99
〔5〕女性の活躍推進の取組の支障となること.....	100
3 男女がともに働きやすい環境づくりについて.....	103
〔1〕「ワーク・ライフ・バランス」の認知.....	103
〔2〕「ワーク・ライフ・バランス」推進の取組状況.....	104
〔3〕「ワーク・ライフ・バランス」推進の効果・影響.....	108
〔4〕ハラスメントへの対策.....	110
〔5〕ハラスメントへの対策をしない理由.....	111
4 男女共同参画全般について.....	112
〔1〕行政に期待すること.....	112
自由意見.....	113
〔1〕市民意識調査.....	113
〔2〕事業所アンケート.....	122

I. 調査の概要

I 調査目的

本市では、男女が性別にかかわらず個性や能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、令和3年に「男女共同参画おうみはちまん2030プランー男女共同参画近江八幡市行動計画ー」を策定し、市民や事業者の皆様と協働し、連携を図りながらさまざまな取組を進めています。

このたびプランの改訂を行うにあたり、本市における男女共同参画の現状を調査するとともに、今後の施策方針の参考とするため、市民の皆様にはアンケート調査を実施しました。

2 実施要領

調査種類	市民意識調査	事業所アンケート
調査対象	満18歳以上の市民	市内所在の事業所
対象者数	2,000人 (無作為抽出)	300カ所
調査期間	令和6年8月9日 ～9月13日	令和6年9月18日 ～10月18日
回収数	743件	125件
回収率	37.2%	41.7%
調査方法	郵送配布・郵送回収または電子回答	

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

図表等の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。各設問の図表上の「MA%」等との表記は、回答選択肢の中からあてはまるものを複数選択する場合（すべてに☑等）を示しています。これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。

性別・前回調査比較表では数値が大きい順に黒・青・水色で塗りつぶしています。